## 【新三年生用】第5章 助動詞 総合英語Evergreen

[A] 次の英文を日本語に直しなさい。	
(1) You must not use a cellphone in class.	
(1)	
(2) You should have got up at seven.	
(2)	
(3) She could play the violin at five.	
(3)	
(4) I'd rather stay home.	
(5) He must have told me a lie. (5)	
[B] 次の日本語を英語に直しなさい。	
(6) エネルギーを節約すべきだ。 (6)	
(7) 少しのあいだ静かにしていていただけませんか。	
(7)	
(8) 私の夏休みについてのレポートを書かなければならなかった。	
(8)	
(9) カギはあなたのポケットから落ちたのかもしれないですね。	
(9)	
(10) 彼は奥さんといっしょにパーティーに来るかもしれません。	
(10)	
[C] 助動詞に注意して,次の文を日本語に直しなさい。	
(11) This cannot be the right bus. It's going south.	
(11)	
[D] ( )内の語句のうち,正しいほうを選びなさい。	
(12) A: I missed the TV program last night. B: My brother ( may record / may have recorded ) it.	(12)
[E] must, have toに注意して,次の文を日本語に直しなさい。	
(13) You must not play video games all day long.	
(13)	
[F] ( )内から正しいほうを選びなさい。	
(14) I ( can / be able to ) help you.	(14)
[G] canに注意して、次の文を日本語に直しなさい。	
(15) Can I ask you a question?	

## 【新三年生用】第5章 助動詞 総合英語Evergreen

- (1) 授業中に携帯電話を使ってはいけない。 [Part 2-2 義務・必要を表す助動詞〈Target例文〉]
- (2) あなたは7時に起きるべきだったのに。 [Part 3-1 助動詞+have+過去分詞〈Target例文〉]
- (3) 彼女は5歳でバイオリンが弾けた。 [Part 2-1 能力・許可を表す助動詞〈Target例文〉]
- (4) 私は家にいたいのです。 [Part 3-2 助動詞を含む慣用表現〈Target例文〉]
- (5) 彼は私にうそを言ったに違いない。[Part 3-1 助動詞+have+過去分詞〈Target例文〉]
- (6) We ought to save energy. [Part 2-2 義務・必要を表す助動詞〈Target例文〉]
- (7) Would you be quiet for a minute? [Part 2-4 will / would / shallの用法〈Target例文〉]
- (8) I had to write a report about my summer vacation. [Part 2-2 義務・必要を表す助動詞〈Target例文〉]
- (9) The keys might have fallen out of your pocket. [Part 3-1 助動詞+have+過去分詞〈Target例文〉]
- (10) He might come to the party with his wife. [Part 2-3 可能性・推量を表す助動詞〈Target例文〉]
- (11) これが正しいバスのはずがないよ。南に向かっているもの。 [Part 2-3 可能性・推量を表す助動詞〈Check問題〉]
- (12) may have recorded [Part 3-1 助動詞+have+過去分詞〈Check問題〉]
- (13) 1日中テレビゲームをしてはいけません。 [Part 2-2 義務・必要を表す助動詞〈Check問題〉]
- (14) can [Part 2-1 能力・許可を表す助動詞〈Check問題〉]
- (15) 質問をしてもいいですか。 [Part 2-1 能力・許可を表す助動詞〈Check問題〉]